

女性の職業上のパワーアップの前提条件を考える
ー我が社、我が街から失業者を一名も出さないために⑨ー

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

我が街から失業者を一名も出さないためには、女性の職業上のパワーアップ(実力向上)が欠かせない。今回はその前提条件を考える。

2. 全力を出し切る体制をつくること

①「体力」「気力」とが全てである。まず、「体力」をつけるためには、「正常な健康状態」に自分の身体をできるだけ近づけたい。肌のつやを良くし、「ねん膜」を強くするためにレモンを何十個も食べる代りに「ビタミン C」を一日 1000 ミリ以上「ハイシー」などビタミン剤で摂取することをおすすめする。ビタミン C を大量にとるとねん膜が強くなるから「かぜひき」や「花粉症」が非常に軽くなる。次に「ビタミン E」を毎日とることをおすすめする。ビタミン E は血行をよくし、鼻づまりやちくのう症によく効く。鼻がよくなり鼻呼吸が可能になることは脳への酸素供給量が正常になり、脳の働きをよくすることにつながるからだ。脳に酸素が行かねば、頭が動かず難しい仕事はできないと思われる。(タバコは、脳への酸素供給量を減らす原因となる。難しい仕事をしたかったら、タバコはやめた方がよいかも知れない。)ニンジンや 2 ～ 3 本かじる代りに糖分の少ない生協などのキャロット・ジュースでベーター・カロチンを毎日 1 本きちんととれば、頭の働きがよくなると同時に、疲れが一気にとれる。「にぼし」をおやつ代わりに毎日食べていると、タウリンが大量にとれ「記憶力」がよくなる。カルシウム剤を一日 10 粒以上のむと、イライラがなくなる。水を一日に 1 リットル以上のむと、血液がサラサラになり、頭痛や肩こりがなくなる。とりわけ血行をよくする「ビタミン E」は更年期を軽く済ます特効のビタミンであるから、20 代から飲み続けると良いようだ。なっとうのねばねばは、抗ガン作用があり、毎日なっとうを食べるとガンにかかりにくい身体をつくと同時に抗ガン剤の効き目をよくする。

＊以上は、よく勉強している先生から直接教わり、私がすべて試しているものなのですべておすすめする。体重が気になる方は外食をさけ、できるだけうす味に徹した料理をすることと、寝る 5 時間前から食事をしないこと。極端なダイエットは仕事の妨げになる。

＊「歯」が悪ければ全く仕事にならない。たとえ自動車を買うくらい費用がかかろうとも、上手な歯医者さんを早く見つけて、虫歯、親知らず、シソーローなどを治してもらった上、歯並びをよくし、キッチンと奥歯で「歯をくいしばれる」ようにすべきである。「メンテナンス」にも月 1 回は通い口腔内を常に正常に保つ努力をすべきである。アメリカ人と同じように「デンタル IQ」を高める努力が日本人にも必要だ。

②「自分はこの仕事で全力を出し切るのだ」という思い込みが必要である。そのためには、何のためにこの仕事を一生の仕事にするのかという強い「動機付け」が必要だ。強烈な「職業上の使命感」「職

業に対するロイヤリティ」を身につけること。

＊ただ、これは、よほどその職業について打ち込んで勉強してからでないとわからないし、身にもつかない(折角なので次にその方法を述べる。)

③最高の師匠(先生)にピタッとつくこと。その分野で日本一、世界一と呼ばれる先生について 10 年以上勉強をしつづけること。もちろんタダではできないので、生活を質素にし、お金をため身銭を切って、最高の技術の修得に全力を尽くすこと。休日や、仕事と眠る以外の時間は 10 年間はすべて職業上の技術を身につけるために使うことくらいの気構えが大切。

④ここぞと思うところには、日本国内はもちろん世界中「視察」にどんどん出かけること。そのためには時間と旅費が要る。

＊朝起きたらすぐトイレに行き、5 分間で洗面ときれいにお化粧ができるよう創意工夫をすること。夜は、お風呂場で 30 分以上ゴシゴシと自分の身体をきれいにみがき上げることを「一日の運動」とすること。

⑤「ボーイフレンド」・「配偶者」・「子ども」・「両親」はどうするかが大問題となる。「ボーイフレンド」との貴重なデートの時間は大切にしたい方がよい。一日 1 回はたとえ 10 分でも電話でおしゃべりをすべきである。「配偶者」とはどんなことがあっても寝室を別にせず、同じ部屋で夜はすごし、同じ部屋で朝は目覚める方がよい。お互いに忙しいのであるからその間、少しでも楽しい会話をすべきである。(30 代後半から 50 代前半の夫婦の半数以上が別の部屋で寝起きをしていると聞き及ぶが新婚当時を思い出し、是非同じ部屋ですごして欲しい。でないと日本もアメリカのように半数以上が離婚になってしまう。)」子どもとはせめて一日 1 回は一緒に楽しく「食事」をして欲しい。自分が疲れていても子どもに当たらないでやさしい言葉をかけて欲しい。できれば、子どもの良いところを探し、一日 1 回はほめてあげてほしい。小さい子は、できるだけ長い時間抱きしめてあげてください。「両親」は年長者であるのでできるだけ穏やかに、尊敬をもって接すればトラブルも少なくなる。ただ、どうしてもがまんができないときには、身じたくを整え、正座して真剣に自分の考え、理想とするライフスタイルを述べる。よく説明すれば判ってくれる可能性も高まる。

＊「男性」や「家庭」が原因で仕事にならない状況を、「創意工夫」と「愛情」で打破して欲しい。

⑥「自分自身の職業上の技術や能力をいかに高めるか」についても、③や④で述べたことを中心に、真剣になって考えるべきだ。ただ、自分自身のこととはいえ、一人ではとてもつらいので「励まし合う仲間」「励ましてくれる友人」や「評価してくれる人」が存在するともうすぐ「気持ちが楽」になる。頑なにならず、肩のはらないさわやかなお付き合いのできる友人をつくる努力も必要かも知れない。お互いのプライバシーはよく守り、陰口と人格非難をしなければ、人生にとり、かけがえのないお友だちができる。たとえ一人でもそのような人をつくる努力をするといよい。

⑦最終的には、自分一人では仕事が完結しない場合が多いであろうから、上司につかえる方法、部下に気持ちよく働いて頂く方法についてもたえず勉強をすべきである。他人に仕事を教え込む技術も必要不可欠である。大がかりな仕事になれば、自分自身が 10 名以上の部下をもつマネージ

ヤーにならなければならない、さらに、そのマネージャーを 10 名以上指導する立場にもならざるを得ない。管理能力を身につける必要も出てくる。

＊聖書に「はじめにことばありき」とあるように「ことば」は「ことだま」でもある。一人の人間が発する一つ一つのことばは全人格の表れ。大切なものであるので、立場が上になればなるほど、深く考え十分選び抜いたことばを発ししなければならない。仕事上のこととはいえ深い見識に裏打ちされた、それでいて愛情にあふれた温かいことば遣いをしなければならない。

⑧そうは言っても、あまり深刻になっても、職場に「鉛がおりたような重苦しい雰囲気」が漂い、部下に「同じ空気を吸うのもいやだ」と感じさせても困るので、常に「明るく、楽しく、元気よく」を具体化する働く場づくりが大切だ。音楽のセンスを磨き、職場に 100 枚入りの CD プレーヤーを備えみんなが気分のよくなる曲を選び抜きそこに入れることも大事。レプリカでもよいから、雰囲気に合った絵画を選び掲示することも欠かせない。全知全能を傾けて明るい職場づくりを目指すこと。

⑨ 1 日に 1 時間以上は、自分の専門分野の勉強をすること。できれば、たとえ一つの分野でもいいから日本の最高水準、世界の最高水準の情報を入手し、それと真正面から立ち向かうこと。

⑩「英語」のマスターは欠かせない。NHK ラジオの英語会話の講座のテープを自分のレベルに合わせ、毎月購入し、自動車に乗ったら少しでもいいから聴くこと。毎月テキストも購入し、大きな声を出して何回も音読してみること。(実際の放送は聴けるときだけ聴けばよい。)

⑪たえず「美しいもの」に接する努力をすること。「美しい音楽」「美しい絵画」「美しい風景」「美しい文章」「美しい造形」「美しい舞踊」などなど。「ことば」や「美意識」「感性」を磨き、人格の高みにまでもっていくこと。

「聖書」を折に触れて読み、日曜日の午前中は、聖書の理解を深めるため教会に行くこともおすすめする。

＊「思想」や「哲学」についての理解、自分なりの「宗教」をもつことも社会人としては望ましいと思う。

⑫「職業を通して全人格を傾け精いっぱい生きる決意をし、計画をたて、少しでも実際にやってみる」ことが大事かと思う。「これからの人生をどうしよう」と毎年毎年いくら悩んでも、悩んでいるだけでは物事は一歩も進まない。

3. おわりに

思い切って伸び伸びと自分のやりたいことを自分の責任でみんながやってはじめて街中が活性化し、失業者を一名も出さない街づくりができるのではないかと思う。

女性も遠慮しないでもうそろそろ、めいっぱい羽ばたいてもいいのかもしれないし、もし、羽ばたかず、今まで通りではこの状況は乗り切れず、街中が失速してゴーストタウン化してしまうかもしれない。

みんながキラキラと目を輝かせ、生き生きと仕事ができる職場や街をつくることを目指し、がんばっていきましょう。

我が街から失業者を一名も出さないために最も必要なことの一つは、非常に片寄っているかもしれないが、例えば以上のような方法で実力をつけ、パワーアップを果たしながら、女性も自らの責任で会社を起こし、従来型の企業からの余剰労働力を吸収して頂くことだ。女性の創業支援のために、何ができるかを官民一体となって考え抜き、具体策を出し、少しでもいいから実行に移すことが大切かと思う。是非街中でこのテーマでの議論を深めようではないか。